

平成25年度 松江市公民館長会活動方針

松江市は、平成の市町村大合併を成し遂げ、20万人の特例市を実現し、名実ともに山陰の中核都市としての役割と使命を担っている。

また「平成の開府元年まちづくり構想」を策定し、20年後の松江市の夢をめざして、市民と協働でまちづくりを進めることを重視し、公民館機能の強化を図っており地域力醸成に公民館の果たす役割は一層期待されている。

松江市公民館長会は、新しい組織を結成して以降異なる運営形態を乗り越えて、その融合を図りながら地域住民の信頼に応えるべく努力を重ねてきた。

今日の社会は、高齢化や少子化、情報化や科学技術の進歩など大きく変化しており、こうした日常生活に必要なことに対して、どう公民館が立ち向かっていくかが求められている。そのためには、各関係機関・団体との連携を図りつつ、また公民館同士の連携を一層深め、公民館が地域にとってかけがいのない存在となることが大切である。さらに地域住民の願いである安全・安心、健康・福祉、観光・まちづくりに係る課題を的確に捉え、その対策について学習し、実行していく活動を推進していくことが重要である。

また、子育て支援・青少年育成は、地域公民館の重要な課題である。そのため「小中一貫教育」、「ふるさと教育」を推進し、「放課後子ども教室」、「学校支援地域本部」、等の事業を地域教育力再生の機会ととらえ、学社融合を一層強化し、積極的に推進する必要がある。

以上のことから本年度の重点を次のように設定する。

本年度の活動の重点

1. 社会・地域課題に取り組む公民館活動を推進するため、専門委員会の活動の一層の充実を図る。
2. 公民館長としての資質向上を図る研修を充実させ、特色ある公民館の運営に努める。
3. 安全・安心、健康・福祉、環境問題及び青少年育成に係る事業を積極的に推進し、地域力醸成に資する。
4. 行政、関係機関、諸団体との連携を強化する。特に、学社融合の観点から学校との連携強化を図る。
5. 市民に一層信頼される公民館となるよう事務効率を高め、業務内容及び運営の改善を図る。
6. 公民館制度及び職員の処遇改善に係る公民館の諸課題を検討する。
7. 平成26年度開催予定の中四国公民館研究集会開催に向けた準備を進める。